

那須塩原市議会 自民クラブ 行政視察報告書



視察期間 平成30年8月7日(火)～9日(木)

- 1 視 察 日 平成30年8月7日(火)
視 察 地 静岡県 熱海市役所
調査内容 観光振興施策について
- 2 視 察 日 平成30年8月8日(水)
視 察 地 静岡県 熱海市観光協会
調査内容 熱海市観光協会の取り組みについて
- 3 視 察 日 平成30年8月8日(水)
視 察 地 東京都 東京都庁
調査内容 宿泊税について
- 4 視 察 日 平成30年8月9日(木)
視 察 地 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
調査内容 味の素ナショナルトレーニングセンターについて

那須塩原市議会 自民クラブ
中村芳隆、櫻田貴久

テーマ：観光振興施策について
視察地：静岡県 熱海市役所
視察日：平成30年8月7日（火）
報告者：櫻田 貴久

「熱海の奇跡」

衰退した観光地の代名詞となっていた熱海はなぜ再生できたのか。

熱海市の観光振興施策について

1. 観光振興施策全般について
2. 熱海市観光基本計画の策定の経緯について
3. 熱海市観光基本計画について
4. 観光振興の視点からみた「営業する市役所」について
5. 民間との連携について（飲食店等の活性化策等）に、重点を置き視察をして来ました。

考察

あらためて、単年度予算で動く行政を民間が補完して町の魅力作りを長期的に推進する格好のモデルだと感じました。

那須塩原市の奇跡（板室温泉・塩原温泉）に参考になりました。小さな事業を立ち上げ、成長させることが、まちの再生に繋がることを感じました。

那須塩原市の復活の為にも多くの挑戦者に期待をします。熱海市観光建設部 観光経済課の皆さん ありがとうございました。

熱海市における観光消費額

平成29年12月

熱海市観光建設部観光経済課

観光交流客数	平成28年度	6,574,378人
うち宿泊客数	平成28年度	3,018,531人
うち観光レクリエーション客数	平成28年度	3,555,847人
観光消費額	推計	1,126億円
経済波及効果	推計	1,003億円

熱海市観光基本計画(平成19年12月策定) KPI

宿泊客数	目標 平成29年度	3,300,000人
経済波及効果	目標 平成29年度	1,000億円



1-2 熱海市観光基本計画（2007.12策定）

長期滞在型の世界の保養地

－ 心と体を回復させる 現代の湯治場「熱海」－

熱海観光の原点である「温泉」にもう一度光をあてながら、時代と社会のニーズの変化に合わせ、長期滞在が楽しめる、何度来ても新しい発見と癒しを体験できる、市民そして観光客にとって満足度の高い心と体を回復させる「現代の湯治場」という世界に開かれた保養地づくりを目指す。

実現のための4つの柱

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| I 温泉中心主義
－ 湯治場「熱海」の復権－ | III 夢いて楽しい温泉保養地
－ 経済効果の各業界への拡大－ |
| II もう一度行きたくなる街
－ 満足度アップの仕組みづくり－ | IV 全員参加のまちおこし
－ 総合的な観光事業の実施－ |



テーマ：熱海市観光協会の取り組みについて

視察地：静岡県 熱海市観光協会

視察日：平成30年8月8日（水）

報告者：櫻田 貴久

1. 観光協会の取り組みについて
 2. 交通機関との連携について
 3. 再び熱海が盛り上がった要因について
- に重点を置き視察を行いました。

熱海市観光協会は6つの観光協会があり一体化の課題については、メリット・デメリットを十分に考慮した上で、ソフトに進めているとのことでした。又、熱海市観光協会の特長としては積極的に収益事業に取り組んでいることです。花火大会の席代や梅園の入場料などがおもな事業です。

本市の観光協会にも将来に向けてたいへん参考になりました。

又、観光協会の会長さんが飲食店経営の方なので、街の活性化という意味では、たいへん身近な取り組みをしています。

ある意味飲食店中心の取り組みにもたいへん参考になりました。又、観光協会の専務さんが最近まで市役所にいたことから連携は非常にうまくいっているように感じました。

熱海市観光協会の取り組みについては、人・物・金いずれもたいへん参考になりました。

ありがとうございました。



熱海市役所にて



熱海市観光協会にて

テーマ：東京都における宿泊税について
 視察地：東京都 東京都庁
 視察日：平成30年8月8日（水）
 報告者：中村 芳隆

1 宿泊税の概要について

目 的 等	国際都市東京の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てる
納税義務者	都内のホテル又は旅館の宿泊者
課税免除	宿泊料金1人1泊 1万円未満の宿泊
税 率	宿泊料金1人1泊 1万円以上1万5千円未満の宿泊 100円 1万5千円以上の宿泊 200円
徴収方法	ホテル又は旅館による特別徴収
税収規模	約2.5億円（平成30年度当初予算額）
実施時期	平成14年10月1日・ ※ 5年ごとに、条例の施行状況、社会経済情勢の推移等を勘案し、この条例について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずる



東京都議会にて

宿泊税は、国際都市東京の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てる法定外目的税として、平成14年10月1日に創設されて以来、安定した税収を確保し、都の積極的かつ確実な観光振興施策の実施に大きく貢献している。中長期的に安定した財源確保は、更なる観光振興の発展に繋がって行くものと思われます。本市にとりましても、観光事業は大変重要な施策の1つであります。長期的に安定した財源の確保ができる宿泊税の導入にはいろいろ課題はありますが、研究してみる価値はあるのではないかと思います。

テーマ：味の素ナショナルトレーニングセンターについて
 視察地：東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
 視察日：平成30年8月9日（木）
 報告者：櫻田 貴久

概要説明

Briefing on NTC

味の素ナショナルトレーニングセンターとは

味の素ナショナルトレーニングセンターは、「トレーニング」「栄養」「休養」の競技力向上の三原則に基づき設計された最新設備と実践的なサポートプログラムによって、アスリートをあらゆる角度から総合的に強化することを目的としている。「屋内トレーニングセンター」、「陸上競技トレーニング場」、「屋内テニスコート」、「アスリートヴィレッジ」の4施設から成る、我が国初のトップアスリート専用施設として、2008年に国により東京都北区に設置された。全ての専用練習場は、それぞれ国際競技連盟の基準に対応した施設設計がなされており、高強度なトレーニングを集中的・継続的に行うことが出来る。また、「屋内トレーニングセンター」には全ての競技団体が使用可能な共用コート、プール、トレーニングルームや研修室等も完備されている。

「屋内トレーニングセンター」に隣接する「アスリートヴィレッジ」は、448名が宿泊可能で、食堂や大浴場も備えている。シングル、ツイン、マンションタイプ、和室などがあり、合宿の形態に合わせて部屋を選択することが出来る。



「トレーニング」「栄養」「休養」の競技力向上の三原則に基づき設計された最新設備と実践的なサポートプログラムによって、アスリートをあらゆる角度から総合的に強化。

Through the modern facilities and the practical support program designed based on the three principles for enhancing performance, "training," "nutrition" and "rest," the athletes are trained comprehensively from every angle.

AJINOMOTO NATIONAL TRAINING CENTER (NTC)

AJINOMOTO NATIONAL TRAINING CENTER has the purpose of training athletes comprehensively from every angle through the modern facilities and the practical support program designed based on the three principles for enhancing performance, "training," "nutrition" and "rest." This Center was set up by the government in 2008 in Kita City, Tokyo, as the first facilities for top athletes' exclusive use in our country, which consists of four facilities: "Indoor Training Center," "Track and Field," "Indoor Tennis Courts," and "Athlete's Village." The facilities of all training fields for exclusive use are designed in accordance with International Federation's criteria to do high-intensity workouts intensively and continuously. In the "Indoor Training Center," a multipurpose court for common use for all of the sports associations, a swimming pool, a training room, study rooms, etc. are also provided.

The "Athlete's Village," adjacent to the "Indoor Training Center," provides accommodations for 448 people and is equipped with a dining room and a large public bath. It has single, twin, condominium-type, and Japanese-style rooms to choose from according to the form of training camp.

ナショナルトレーニングセンター設立経緯 Establishment developments of the National Training Center

時期 Time	主な内容 Outline
1997年 9月 Sep. 1997	文部省保健体育審議会の答申に「ナショナルレベルのトレーニング拠点の設置」が盛り込まれる The "establishment of a training center at a national level" was incorporated into the report of the Discussion Group of Sports Promotion, Ministry of Education, Sports, Science and Technology.
2000年 9月 Sep. 2000	スポーツ振興基本計画が策定され、「ナショナルレベルのトレーニング拠点の早期整備」が必要な施策として盛り込まれる The basic plan for promotion of sports was formulated, into which the "early development of a training center at a national level" was incorporated as a necessary measure.
2001年 7月 Jul. 2001	「ナショナルトレーニングセンターの設置等の在り方に関する調査協力者会議」を設置 The "Meeting of cooperators in research on how the National Training Center should be established" was set up.
2001年 10月 Oct. 2001	国立スポーツ科学センター（JISS）開所 Japan Institute of Sports Sciences opened.
2004年 6月 Jun. 2004	「ナショナルトレーニングセンターの設置等の在り方に関する調査協力者会議」において「ナショナルトレーニングセンターの設置等の在り方に関する調査研究（報告）」が取りまとめられる "Research and studies on how the National Training Center should be established (Report)" was compiled at the "Meeting of cooperators in research on how the National Training Center should be established."
2004年 11月 Nov. 2004	ナショナルトレーニングセンター基本設計業務に着手 Basic design work for the National Training Center started.
2005年 6月 Jun. 2005	ナショナルトレーニングセンター「陸上競技トレーニング場」の実施設設計業務完了 Execution design work for "Track and Field" of the National Training Center was completed.
2006年 3月 Mar. 2006	ナショナルトレーニングセンター「屋内トレーニングセンター、屋内テニスコート、アスリートヴィレッジ」の実施設設計業務完了 Execution design work for "Indoor Training Center, Indoor Tennis Courts, and Athlete's Village" of the National Training Center was completed. ナショナルトレーニングセンター「陸上競技トレーニング場」工事着手 Construction of "Track and Field" of the National Training Center started.
2006年 8月 Aug. 2006	ナショナルトレーニングセンター「屋内トレーニングセンター、屋内テニスコート、アスリートヴィレッジ」工事着手 Construction of "Indoor Training Center, Indoor Tennis Courts, and Athlete's Village" of the National Training Center started.
2007年 1月 Jan. 2007	ナショナルトレーニングセンター「陸上競技トレーニング場」の竣工・供用開始 "Track and Field" of the National Training Center was completed to start the operation.
2007年 12月 Dec. 2007	ナショナルトレーニングセンター「屋内トレーニングセンター、屋内テニスコート、アスリートヴィレッジ」の竣工 "Indoor Training Center, Indoor Tennis Courts, and Athlete's Village" of the National Training Center were completed.
2008年 1月 Jan. 2008	ナショナルトレーニングセンターの全面供用開始 The National Training Center started operation in full scale.
2009年 5月 May 2009	ネーミングライツを導入「味の素ナショナルトレーニングセンター」に決定 Naming rights were introduced, and the name settled on "AJINOMOTO NATIONAL TRAINING CENTER."

施設案内

ご覧になりたい施設をクリックしてください。



屋内トレーニングセンター

国際競技ルールに対応した施設・設備である競技場の練習場、テクニカルルームと、全ての競技団体が共用で利用できる共用コート、プール、トレーニングルーム、研修室及び各競技のコーチが情報交換を行うコーチ室等の施設から構成されています。

屋内テニスコート

全米オープンテニス会場と同様のハードコート2面、全仏オープンテニス会場と同様のレッドクレーコート2面の計4面を備えています。

陸上トレーニング場

屋根付きの全天候型400mトラック(6コース)、天然芝のインフィールド、横断走路、砂場走路、投てき設備、インラインスケート・スキー走路等で構成されています。

アスリートヴィレッジ

ナショナルチームの様々な会合形態に合わせた宿泊室を完備しており、448名が宿泊できます。大浴場、食堂等、選手が快適に過ごせる環境が整えられています。

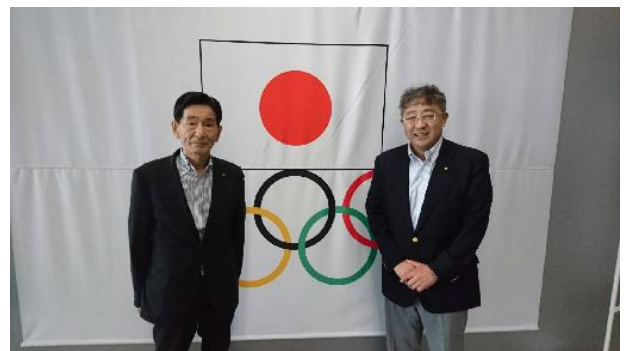
まさしく金メダルを取るという事は、こういうことなんだなあと改めて実感をしました。又、トップアスリートの「勝ち飯」を体験させて頂きました。とにかく全てにおどろきと素晴らしい施設にびっくりしました。まさしく世界レベルです。いや、世界一の施設です。本市のスポーツ施設の計画にすこしでも参考にしたいと思います。それにしても素晴らしい施設です。

又、味の素さんのネーミングライツについての説明を頂きました。

味の素さんがネーミングライツを取得したのは、2009年です。

国立の施設としては、事例で競技力のために必要な「トレーニング」「栄養」「休養」の3つの要素を充足する、この施設を支援させて頂くことは、「食と健康、そして明日のよりよい生活に貢献する」という味の素グループミッションの実現につながることを考え締結に至ったとのことです。また、施設のほかにもJOCアカデミー事業などは、オリンピックで活躍する選手を育てる為に、有望な

優れた素質を有するジュニア競技者に対し、最高の環境の中で集中的な育成・強化を行うことが必要となるため、味の素ナショナルトレーニングセンターに備わる機能を最大限に活用しJOCと協議団体が一体となり、全国から優れた素質を有するジュニア競技者を発掘し一貫指導のシステムのもとに将来オリンピックをはじめとする、国際競技大会で活躍するトップアスリートを育てることを目的にしている事業です。さらに北区を中心とした地域の教育機関等と連携を図り、ひとり一人の競技力・生活力・知的能力を把握し社会の発展に貢献できる優れた人材を育てています。卓球の張本選手などが、そうであるとのこと。又、勝ち飯の会場にはウェイトリフティングの三宅選手などが食事をしていて、たいへん興味深い体験ができました。とにかくすばらしい施設にただただ感動しきりでした。説明をいただいたJOCの関係者の皆さん、たいへん貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。



味の素ナショナルトレーニングセンターにて